

消防おくら

阿部六陽筆

災害情報

令和2年2月15日現在

火災	1件
救急	48件
救助	6件

春の火災予防運動

3月1日（月）～3月7日（日）



もう一度 確認 安心 火の用心

令和2年度東京消防庁防火標語 作者 菅野 珠加さん（江戸川区在住）

監修 奥多摩消防署

発行 奥多摩防火防災協会

電話 0428(83)2299

災害から尊い生命を守ろう！

【ガスこんろの火災にご注意を！】

昨年の住宅火災では、ガスこんろに起因する火災の割合が増加しました。これはコロナ禍の影響により、自宅で調理する機会が増えたことが要因と推測されます。

今後も、自宅で調理する機会が多く予想されますので、調理中の火の取扱いに十分注意してください。

【ガスこんろを使用する場合の注意点】

★調理中はガスこんろから離れないようにしましょう。

★ガスこんろの周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。



東京消防庁

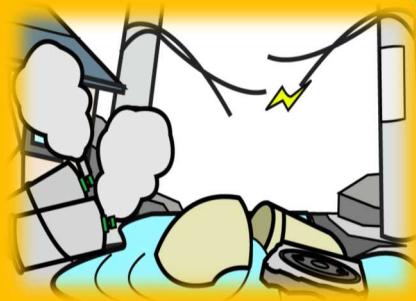


【東日本大震災から10年が経ちます】

2011年（平成23年）3月11日午後2時46分、未曾有の大震災が発生し、多くの人命が犠牲となり、各地に甚大な被害を及ぼしました。

あの大震災から、今年で10年を迎えます。

いま一度、地震に対する備えを確認し、地震が発生したときの行動をご家族やご近所の方と話し合い、確認をしておきましょう。



救急ヘリの活動

令和2年中、奥多摩町内で発生した傷病者のヘリコプターによる搬送は17名で、そのうち7名（全体の41%）が町民の方でした。

傷病者の症状や発生場所、医療機関到着までの時間、搬送路の状況など、さまざまな状況から傷病者を最も安全かつ迅速に医療機関へ搬送できるかを判断し、ヘリコプターの運用が行われています。

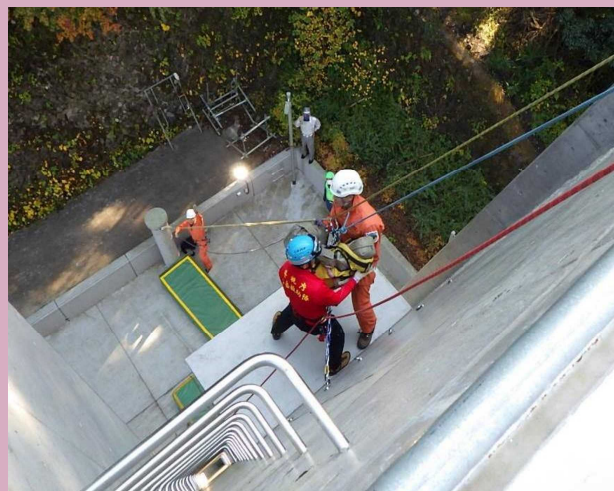


警察との合同演習を実施

奥多摩消防署では、昨年秋の火災予防運動にあわせ、青梅警察署山岳救助隊との合同演習を実施しました。

奥多摩町の災害現場で、常に協力して活動している青梅警察署山岳救助隊と合同演習を実施するのは初めての試みです。

この合同演習を通じて、奥多摩町を守る「チーム」としての力をより強いものにすることができました。



仲間と一緒にワクワク体験！！～ 奥多摩消防少年団 ～

奥多摩消防少年団は、防火・防災に関する知識技術を身につけ、規律ある団体活動や奉仕活動などを通じて、社会の基本的なルールを守り、思いやりの心を持った責任のある大人に育つよう、日々の活動に取り組んでいます。

小学生から中学生まで明るく楽しく元気に活動しています。新学期に向けて新しい元気な団員を募集しています。

※問合せ先：奥多摩消防署／防災救急係まで



消防署の仕事

点検（大交替）

消防署では、3つの班が順番に24時間勤務をしています。（三交替制）

前日の勤務員から申し送りを受け、災害で使用する車両や道具の点検をし、当番が始まります。



防災訓練など

防災訓練や救命講習の実施、町内の保育園児や小学生を対象とした消防署見学を積極的に受け入れることで、町民のみなさんの防災意識の向上を図っています。



災害活動

奥多摩町で発生する火災、山岳救助、交通事故など、様々な災害に対応しています。



訓練

火災、山での事故、交通事故など、様々な災害に備えて訓練を重ねています。



検査

新しくできる建物や既存の建物の消防用設備が法令どおりに設置されているかを検査します。



食事

作る、注文する、持参する、と日によって様々ですが、24時間を共にする仲間と同じ食卓を囲みます。

